



経営計画書策定の 意義と方法

会社の経営者の皆様は、経営計画書を策定されていますでしょうか？ここでは経営計画書の策定意義やその方法について説明します。

1 経営計画書策定の目的

(1) なぜ、経営計画書をつくるのか？

人間は目標があるとそれに向かって努力します。だからこそ目標を立てる意味があります。目標がなければ、それは経営ではなく、成り行きに任せているだけになってしまいます（成り行き任せの経営）。わが社の将来を描き、社員の生活やその家族の生活を守るとともに、社長がやらなければならないことはわが社の未来設計です。

(2) 経営計画書に反映したい3つのポイント

経営計画書に下記を反映させて、具体的な計画を実行に移す足がかりにします。

1) 資金計画

経営計画を作成する大きな目的のひとつは、借入金の返済や経営の重大事項である設備投資などの資金計画を立てるためです。新事業を始めるときにも、必ず経営計画を立てて、資金繰りがうまくいくかどうか、少なくとも紙の上で検討します。

2) 時間生産性

1時間あたりの付加価値額（（人件費＋減価償却費＋営業利益）÷総労働時間）は、少なくとも5,000円をめざします

3) 売上高の季節変動への対応

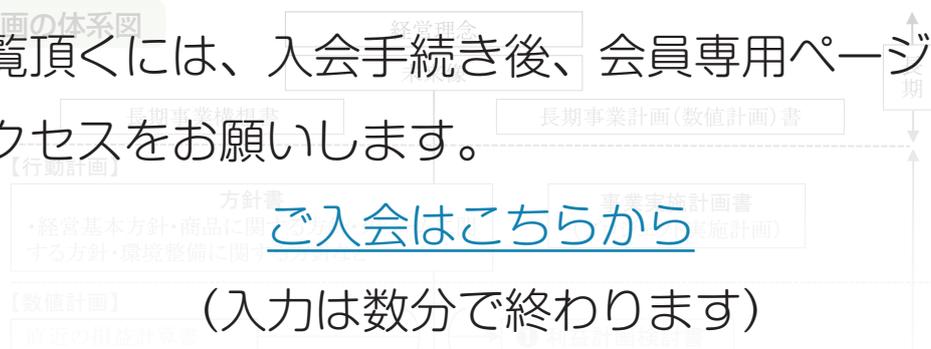
例えば、1年間12カ月を9カ月の売上で賄うことは厳しいことになります。売上のない3カ月の固定費が、9カ月間かけて貯めたお金を食べ尽くしてしまいます。せっかく9カ月で貯めた内部留保金がなくなってしまい、また前年と同じ状態から出発することになり、経営内容が改善されず、投資もできません。年間を通して売上高を確保することが絶対必要で、経営計画に反映させます。少なくとも、閑散期の売上を繁忙期の売上の半分以上には確保することなどを、経営方針に掲げます。

2 経営計画の策定

以降は会員専用ページにて公開しております。

(1) 経営計画の体系図

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。



[会員の方ははこちらから](#)